

NPO法人の脱税問題に関わる S西宮市議の疑惑について

疑惑解明を求め、市議団が議長に申し入れ



事の発端は3月31日の新聞報道。市内のNPO法人「西宮障害者雇用支援センター協会」が、大阪国税局の調査で源泉所得税の徴収漏れを指摘され、重加算税を含め

日本共産党西宮市議団は5月2日、表題の件に関し、「西宮市議会としての権威にかかわる問題だ」として、議長に真相解明を求める申し入れを行いました。

さらに4月27日発売の「週刊新潮」によると、協会理事長が「父が5億円を流用したわけではない。たかってくる連中に渡さざるを得なかったから」として、西宮市議のS氏らの名前をあげました。

「週刊新潮」が、協会からS市議に1億6000万円渡ると報じる……?

約2億8千万円を追徴課税されたこと。また、約5億円を雇用する障害者の報酬として計上していたが、実際には理事長の父親にわたり、私的流用されていたと報じた件。

日本共産党

上田さち子です



2017. 5. 14号

(発行)

日本共産党市会議員
上田さち子
川添町五・十八
電・三五二八三

本に害取し、度障を問は「F」質す。議でり労げま市議た就上いS会わ者りて

S市議は週刊誌の報道について「一切ない」と全面否定していますが、その根拠は全く示されていません。

市議団は、障害者就労に関し、市の契約のあり方とともに、S市議の疑惑解明が必要だと考えています。

9日には議会運営委員会での論議、11日には、協会側の記者会見も予定されています。

私のブログ「上田さち子とコーヒータイム」を更新中です。
ぜひ、訪問して下さい。お待ちしております。

「入学準備金」(就学援助)は増額し、新小学1年生も入学前の3月支給を

3月議会で取り上げた「入学準備金」(入学後の7月に支給)については、その後市教委が①新中学1年生については来年3月に支給することを表明していますが、日本共産党市議団はさらなる改善を求め、5月9日に市教委に申し入れを行いました。

日本共産党国会議員団と連携

この間、党国會議員団の奮闘があり、文科省が都道府県教育委員会に通知。その内容は、①新小学1年生も入学前の3月に支給可能となるよう

保育所や幼稚園卒園の「就学予定者」も入学準備金の交付対象にする ②入学準備金の額も約倍に増額するというもの。

市議団は、この通知を受け、西宮でも来年3月には新小学1年生にも入学準備金を額を倍増して支給するよう求めました。



統一メーデー西宮集會に参加



新緑がまぶしい5月1日、市役所前公園で開催された「第88回統一メーデー西宮集會」に参加し、私は日本共産党を代表しあいさつ。

当日は1300名近くの働く仲間が参集され、「共謀罪は廃案に」「憲法9条を守れ」「長時間労働をなくし、働く者のくらしを守れ」などのプラカードが並び、シュプレヒコールが響きました。

就学援助制度の活用を

就学援助制度は市民税が非課税又は減免されていたり、国民健康保険料の減免を受けているなどの条件を満たせば誰でも受けられる制度です。

給食費や修学旅行積立金などの経費や、入学準備金などが申請により給付されます。本来、義務教育は無償!の原則から、すべての児童・生徒に適用されるべきです。